



感 染 症 週 報



小笠原での流行状況

第46週（11月10日から11月16日まで）

父島 インフルエンザ、感染性胃腸炎の報告がありました。

母島 インフルエンザの報告がありました。

※ 5例以上発生時に実数報告としています

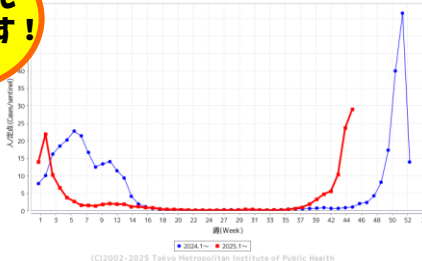
東京都全体での流行状況

第45週（11月3日～11月9日）

【警報・注意報】

・インフルエンザ **警報レベル**
（定点患者報告数 29.03）

村内でも
出ています！



東京都内における定点当たり患者報告数の年別推移



0.0 2.0 4.0 6.0 8.0 10.0 12.0 14.0 16.0 18.0 20.0 人/定点

都内の保健所別定点当たり患者報告数(第45週)

【ピックアップ】

・百日咳
（累計患者数 6,718人）

感染症メモ

インフルエンザは冬に急増しますが、その後はほぼ「ゼロ」に減少します。しかし、新型コロナウイルス感染症は、これとは異なり、年間を通じて感染者がゼロになることはありません。現在、感染者数が少なく見えても、水面下で感染がくすぶり続けている状態です。これは、いつ再び感染の波が押し寄せてくるか分からない、静かな脅威が常に存在していることを意味します。油断は禁物です。混雑する場所やイベントではマスクを着用し、基本的な手洗い・換気を継続しましょう。

冬の呼吸器感染症に備えましょう

冬の寒さが深まり、インフルエンザや新型コロナウイルスといった呼吸器感染症が増える季節になりました。特に島内では、医療資源が限られているため、一人ひとりの予防が「島全体を守る」力になります。決して油断せず、基本的な対策を徹底しましょう。

感染症から身を守るための三つの対策

咳エチケットと手洗い



咳が出る時は、必ずマスクやハンカチで口を覆いましょう。そして、外出先から戻ったとき、調理前、食事前など、こまめな手洗いと手指消毒を心がけてください。

適切な「換気」の習慣



寒い時期ですが、暖房を使いながらも1時間に数分、窓を少し開けるなどして、部屋の空気を入れ替えましょう。新鮮な空気を取り入れることで、感染リスクを低減できます。

体調不良時の行動



発熱や強い倦怠感など、体調に異変を感じた際は、無理をして仕事や学校に行かないようにしましょう。

皆様のご理解とご協力が、島の健康を守ります。



インフルエンザは夏にはほぼゼロに近くなる



新型コロナウイルス感染症は低値でも下がりきらない傾向



習慣にしよう！

感染予防の基本は手洗い



東京都島しょ保健所小笠原出張所

